



わたしの願い かなうかな

七月七日は七夕。日本では、短冊に願いごとを書いて笹の葉に飾ると、願いがかなうと言われています。また、子どもたちにとっては思い出に残る行事のひとつです。このような昔ながらの行事はいつまでも残していきたいものです。

小桜保育所では七月三日、七夕の飾り付けを行いました。子どもたちは思い思いの願いを書いた短冊や、色紙で作った色鮮やかな飾りを笹の葉に付けました。立派に完成した七夕飾りに子どもたちは大喜び。さっそく庭に立てられました。



完成した七夕飾り

暑い夏ゆとりもつて楽しい余暇を



はじめじめした梅雨が明けると本格的な夏。子どもたちにとっては楽しみに待っていた夏休み。皆さんの中には、いろいろなプランがあつて、ハードスケジュールを消化していくのが大変という方もいるのではないのでしょうか。
 今月は、子どもたちの夏休みの過ごし方などを考えながら、長い休みのなかでの注意点などを確認してみましょう。

心もからだもリフレッシュ

七月二十日は新しく祝日に制定された「海の記念日」、そして学校は夏休みが始まります。

大人の社会でも、労働省などがそれぞれの職場で、夏の長期休暇をできるだけ取るようにして心身ともにリフレッシュするホットウイークの設定を勧めています。

忙しい生活の中で、おとなばかりでなく子どもたちもストレスをためている現代社会。

スポーツやあそびを通じて友達とのふれあい、親子のふれあいを深めるために、夏休みはよい機会ではないでしょうか。

しかし、いろいろなものから解

放され、長い休みのうちに気がゆるむと危険なことも起こりがちです。自分なりの計画を立てて、目的をもって過ごすことも大事なことです。いろいろな活動に一生けんめい取組み、汗を流すことによつて、得るものがあり、思い出多い夏休みになるのではないのでしょうか。

スポーツで汗を流して仲間づくり

町の子ども会やスポーツ少年団などの活動では、夏休みに行われる大会に向けて練習に力が入る季



休憩タイム、保護者の協力に支えられています

節です。

野球やバレーボール、サッカー剣道など各地区で組織され、たくさん的小学生が加盟、練習に励んでいます。

ファミコンに夢中になって、一日中画面とにらめつことというのはあまり好ましくはないでしょう。

夏の暑さに負けず、健康な汗を流して、仲間づくり、からだづくりが、これからをたくましく生きて行くためには大切なことです。

サッカー少年団では、毎週土曜日、運動公園に集まり練習で汗を流していました。練習を指導しているコーチの方々や保護者の皆さんの暖かい協力や強力なバックアップが、活動を支えるためには必要なことのようにです。

のびのび遊ぶ夏休み

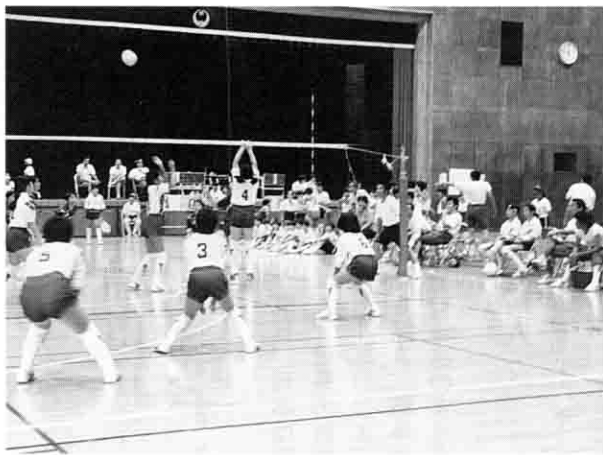
何といっても夏休みは、自由に遊ぶ時間がたっぷりあります。友だちとの遊びは、ふだんの生活の中では、同年齢の友だちが中心で、異年齢間の交流はむずかしい状況にあります。

夏休みを利用して、子ども会の活動が活発に行われます。

かつて、子どもたちの社会は、年長者がリーダーシップをとり、たてよこの関係がバランスよく保たれた中で、たての関係を受け入

れながら、成長とともに、たての社会へ抵抗なく入って行くという環境がありました。現在、たての関係は希薄になっているようです。一方、家庭においても小児化がすすみ、兄弟、姉妹の数が少なくなり、おおぜいで遊ぶより少人数で遊ぶ傾向にあります。

子ども会活動は、こうした状況の中で、ますます重要な役割をもつてくるといえるでしょう。



8月に開かれる子ども会球技大会（女子バレー）

地域の各子ども会では、キャンプや映画会、花火大会など独自の楽しい遊びの計画を立てています。そうした計画も大人が手を差し伸べ、援助することは必要ですが、なんといつても主役は子どもたちであり、子どもが自主的に企画・運営できることが望ましいことです。

ゆとり大切に親子のふれあい

町の子ども会育成連合会が中心になって、それぞれの子ども会の幹部を対象にした講習会などがあり、自主的な活動ができるようリーダーの養成が図られています。いま、学校も家庭も「ゆとり」がないといわれています。

これからの長い夏休み、すこし「ゆとり」をもつていろいろな体験をしながら、親子のふれあいや対話の機会をたくさんつくっていくことも大事なことでないでしょうか。



子ども会球技大会（男子ソフトボール）

花火の季節

楽しく遊ぶ五つの約束

花火の季節になりました。夏の夜空に大きく広がる打ち上げ花火も美しいけれど、子どもたちにとっては、家庭で遊べるおもちゃ用の花火も楽しみの一つでしょう。おもちゃ用の花火でも注意して取り扱わないと危険なものもあります。

花火をするときには、必ず大人が付き添って危険のないよう注意することが大事です。また、子どもたちにも、次の約束を守らせましょう。

一、花火は大人と一緒に

子どもだけで花火をすると、事故につながるやすく、万一事故が起きたときにも対処できません。花火は大人と一緒にすることを約束させましょう。

また、夜間遅くなつてからの花火は、近所迷惑になるのでやめましょう。

二、広い場所で遊ぼう

狭い場所や燃えやすいものが近くにある場所で花火をするのは、火災につながりやすく、危険です。花火をするときは広い場所です。

三、風の強い日はやめよう

風が強い日や乾燥している日は火災が起こりやすく、また燃え広がる危険性も大きくなります。このような日の花火はやめましょう。

四、花火の注意書きを守りましょう

おもちゃ用の花火は種類もさまざま、点火方法なども異なります。注意書きをよく読んで、正しく取り扱いましょう。

花火をほぐしたり、数本まとめて点火したりするのも、危険なのでやめましょう。

五、水の入ったバケツを用意しましょう

花火の燃えが原因で火災になった事例もあります。花火で遊んだら、火の後始末を忘れずに。水の入ったバケツを用意し、花火の燃えがらは、必ずその中に入れて火を消しましょう。また、使い終わった花火は、きちんと後かたづけをしましょう。

昭和20年8月15日

歴史に学ぶ命平和の尊さ

昭和二十年八月十五日、日本は戦争という忌まわしい歴史に終止符を打ち、復興への道を歩み始めました。戦争の終結を世界に宣言し、平和な国づくりを誓った日といえます。ことしの八月十五日は五十一回目の終戦記念日を迎えます。戦争の時代を生きてきた人たちの話を聞き、戦争の悲惨さを知り平和の尊さを後世に伝えることが大切です。平和への願いに次のような作文も寄せられていました。

戦争を経験した人々

恋瀬小六年 鈴木 律子

私は、戦争のことについては、よく知りません。でも、戦争のことが、少しでもわかりたいと思っています。だから、私は、戦争のおそろしさについて調べることになりました。

私は、休みの日は、おじいちゃんやおばあちゃんと、いろんな話をします。私が、以前おじいちゃんとおばあちゃんに戦争のことを聞いてみると、最初にでてきた言葉は、やはり「おそろしい」や、「こわかった」という言葉でした。私がおじいちゃんとおばあちゃんの言葉を聞いて、「戦争を知っている人は、多分、今でも、おそろしいと思っているだろう」と思いました。

恋瀬小六年 鈴木 律子
そして、戦争のことを忘れていないと思えました。それに、戦争にでた人や、その時、小学生や学生だった人は、はつきりと、覚えていると思えました。私は、戦争のことについて、もっとくわしく知りたいと思えました。そして、こんどは、ひいおばあちゃんに、くわしく聞くことにしました。ひいおばあちゃんに、戦争のことを聞くと、戦争のくろしきとおそろしさを教えてくれました。ひいおばあちゃんは、「戦争は、とてもおそろしい。ばくだんが、何こも落ちてきたり、回りの人は、必死でにげた。家が燃えてしまった人もいた。食べる物もなくなって、やせこけてしまった人もいた。とっ

でもこわくておそろしい戦争だった」と言った。私は、ひいおばあちゃんとしやべっているとなんだか、昔の人にもうしわけないように思えてきた。それは、今は、昔より、暮らしがよくなり、食べ物も、たくさんある。昔みたいな、戦争もおこっていない。そして、不自由な生活も、おこっていないと思ったからです。なんだか、悲しい気持ちになつてしまいました。

私は、今まで調べた戦争のことをもっと、くわしく調べたいと思います。それに、戦争のことを、知らない人に、少しでも教えてあげたいと思いました。そして、私はもっと、日本が平和になることや、外国の戦争がなくなるのを願っています。

犠牲の上に築かれた繁栄

日本はいま、豊かな社会のなかで、平和な暮らしが送れる環境にあります。

時代の流れの中で、突然起こる事故や自然災害によって不幸にして人命が奪われますが、他国との戦争による生命の危険は考えられないでしょう。

国内紛争が続く悲惨な生活を送っている海外の様子がテレビニュースなどで放映されます。かつて日本も空襲を受けた被災地や戦場となつて多くの犠牲者を出した沖縄など同じような状況にあります。

た。戦場での死傷者、国内では食糧不足による栄養失調の死亡など、戦争は国民を巻き込んで凄惨な歴史を刻みました。

現在の生活からは、想像もつかないことですが、多くの犠牲の上に、いまの豊かな暮らしが築かれたことを忘れてはならないでしょう。

二十世紀前半は、戦争が続く暗い時代でした。しかし、やがて訪れる二十一世紀さらに平和が続くためには全世界と心を合わせ努力して行かなければなりません。



生涯学習のつどいでパネル展示、いろいろな機会を通して戦争の悲惨さを伝えることが大切です。



夏休み・心

子どもを非行に走らせない 家庭の心構え

長い夏休み、子どもたちにとって、学校生活から解放されるこの時期は、自由で楽しい半面、生活のペースが乱れがちになり、ちょっとしたきっかけや弾みで非行に走ってしまう危険な時期でもあります。ここでは、凶悪で粗暴な犯罪が増加している少年非行の現状と、子どもたちを非行に走らせないための家庭の心構えについて考えてみます。

警察庁のまとめによると、平成七年中に刑法犯として補導された少年（十四～十九歳の男女）は約十二万六千人。前年に比べ約五千人減りました。しかし、成人を含めた刑法犯総検挙人員の半数近くを少年が占めており、依然、少年非行は憂慮すべき事態にあります。

凶悪事件や 集団犯罪が増加

犯罪の内容をみると、最も多いのは万引きなどの窃盗犯です。ここ数年の傾向としては、恐喝や強盗、放火といった凶悪で粗暴な事件が増えています。中学生によるタクシー強盗（京都府）や連続放火事件（茨城県）など、これまで大人によるものと思われていた犯罪が、少年によって引き起こされています。

少年非行のもう一つの特徴として犯罪の集団化が挙げられます。専門学校生六人による睡眠薬を利用した連続強盗・婦女暴行事件（神奈川県）や、無職の少年らによるリンチ殺人事件（大阪など）

凶悪犯罪へと エスカレート

少年非行はいつも、万引きなどの軽い犯罪から始まり、次第に集団による恐喝や暴行など凶悪な犯罪へとエスカレートしていきます。また、女子がテレホンクラブをきっかけに被害に遭うケースがあります。家族など周りの人がその兆候を早く発見し対処することが非行を防止するポイントです。

非行の兆候

こんなサインに要注意

- 行き先を言わず外出したり帰宅時間が不規則で遅くなったりする。
- 夜遊びや外泊が多くなる。
- 友達が変わり、柄もわるくなる。
- 髪を染めたり、ピアスをするなど髪型や服装が派手になる。
- 落ち着きがなくなり、うそをついたり家族との対話を避けたりするようになる。
- ささいなことでも怒るようになり、親に反抗するようになる。

テレホンクラブ利用こんな兆候に注意

- 見慣れない物や高価なものをもつようになる。
- 年齢に合わない格好をする。
- ポケットベルを使うようになり、頻繁に呼び出され外出する。
- 家出をしてもお金に困った様子がない。



非行防止に 迷わず相談

茨城県警察本部や各警察署では、少年の非行や家出、自殺などを防止するために「少年相談」窓口を設けています。また「ヤング・テレホン」

「いじめ110番」など電話による相談も受け付けています。子どもの問題で悩む保護者はもちろん、だれにも打ち明けることのできない子どもたちからの相談にも応じています。心理学などに関する知識をもつ専門職員や経験豊富な婦人補導員などが適切な指導や助言を行っていますので、非行への兆候がみえたり悩んでいたたりしたら、迷わず相談しましょう。

「ヤング・テレホン」による相談は

☎〇二九一・三三二・〇九〇〇

6月定例議会

議長に上田孝之氏

副議長に鈴木光雄氏選出

小松崎助役が所信表明の中で

陳謝

平成8年第2回八郷町議会定例会が、6月11日に招集され18日まで8日間の日程で開かれました。上程された案件は、報告3件、議案7件で全て原案どおり可決採択されました。提出された案件は次のとおりです。

〔報告〕

▽財団法人八郷町農業開発事業団の予算及び決算▽財団法人八郷町

〔議案〕

産業文化事業団の予算及び決算
▽八郷町土地開発公社の予算及び決算▽平成7年度一般会計予算の繰越明許費繰越計算書▽八郷町税条例の一部改正の専決処分▽平成7年度八郷町一般会計補正予算(第12号)の専決処分

▽平成8年度八郷町一般会計補正予算(第1号)

▽八郷町国民健康保険税条例の一部改正

▽八郷町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

▽平成8年度八郷町老人保健特別会計補正予算(第1号)

▽町道路線の認定
▽町道路線の廃止について

▽八郷町総合運動公園の設置及び管理に関する条例の改正



町長不在という状況の中で開かれた6月定例議会



上田 孝之議長



鈴木光雄副議長

定例議会の冒頭、町長職務代理者として所信表明に立った助役は、

「今回の不祥事により、議会をはじめ町民の皆さんにたいへんご迷惑をおかけしていますことは甚だ遺憾であり、このことについて心からお詫びします」と陳謝し、さ

らに、「職務代理者として施策の円滑な遂行に努めるとともに、職員と一致協力して一日も早く信頼の回復が図れるよう努力してまいりますので、お力添えをお願いします」と議会の理解と協力を求め

ました。

なお初日には、島田重郎議長の議長辞職に伴う議長の選出が行われ議長に上田孝之氏が、さらに、副議長が欠員になったためその選出が行われ副議長に鈴木光雄氏が選ばれました。

提出された案件のおもなものとして、平成8年度一般会計補正予算(第1号)では、歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれ1,036万8千円を追加し、総額を94億7,036万8千円としました。

歳入では老人保健特別会計繰入金が994万3千円の増、民生費

社会福祉費補助金37万5千円の増などがおもなものです。

歳出は、衛生費の保健センター管理委託経費が236万2千円の増、農林水産業費の計画書印刷経

費200万円増などのほか、民生費では介護の体験を通してボランティア意識を高めるため、介護ふれあい体験事業への補助金45万6千円を増額補正しました。

条例の改正では、町消防団員が各階級別、勤務年数によって退職時に支給される報償金の額をそれぞれ5千円引き上げるための改正などがありました。

議会最終日には、議員提案による町長に対する辞職勧告決議案の提出があり、出席議員のうち1名が退席したほか全会一致で可決されました。



伊藤昌次郎議員が提案理由を説明

町の英語教育に大きな成果

さようならカーター先生

ミコーミック先生

平成五年七月、八郷町が初めての英語指導助手（AET）としてアメリカから招いたカーター・ジェイソンさんと昨年七月に招いたミコーミック・メガンさんの二人が、町との契約期間を終えこのほど、町を離れることになりました。カーターさんは三年間、ミコーミックさんは一年間中学校の英語指導で活躍するとともに、町の人たちと積極的に交流を深めてきました。二人に八郷町での思い出や生徒のみなさんへのメッセージなどをお聞きました。



ミコーミック先生は、ふれあいまつりの会場でも町の人たちと気軽に話していました

JETプログラムという国際交流事業を通じて八郷町に迎えた二人の先生。

国際化の進展は、学校教育の分野にもおよび、英語教育の充実が大きな課題になっていた中で、初めて迎えたカーター先生、続いて昨年迎えたミコーミック先生。

学校の授業では、AETと共同で進める授業（ティームティーチング）ができるようになりました。

また、二人の先生は学校の外でも剣道や弓道ほかに公民館の英会話講座を通じて、町の人たちと幅広く交流を深めてきました。私たちは、日本文化を積極的に学ぶ二人から、垣根をつくらぬ相互理解、交流の大切さも学びました。

二人が八郷町を離れることは、中学生はじめ親交の深かった皆さんは、とても残念に思っているでしょう。カーター先生は、これからつくば市でAETの仕事が続けます。また、ミコーミック先生はアメリカに戻り大学の修士課程で学ぶ希望があるそうです。

二人のこれから進む道での活躍をみなさんで祈りましょう。

最高の思い出は剣道初段



カーター・ジェイソン先生

私にとって八郷町での生活は、大学生のころの生活と変わりなく、少しも違和感を感じませんでした。三年の間には、生徒のみなさんばかりでなく、その両親や祖父母まで家族を含めて、ふれあいができました。そして、たくさんの日

みそ汁の作り方を習得



ミコーミック・メガン先生

私の八郷町での一年間は、ことが通じなくて少し困ったことはありましたが、周りの人たちが親切に助けてくれましたので苦労しませんでした。

最近では、お寿司や天ぷら、納豆など日本の料理や食べ物もおい

本人の友人ができました。

剣道や合気道、茶道を習い、特に剣道は初段に合格することができたことは最高の思い出です。

生徒のみなさんは、私がこちらにきたころは、話しかけることをためらっていたようですが、最近では会話が広がりが感じられ、話題が豊富になってきました。

八郷町ではこれからも、いろいろな国からAETを招くと思いますが、みなさんは、私たちの時と同じようにどの国の人とも仲よく接してほしいと思います。

しくいただけるようになりました。それから、覚えた料理があります。みそスープ（汁）です。アメリカに帰ってから作ってみたいと思います。

八郷町のそれぞれの学校では、会話をするとサインやスタンプがもらえたりする方法など工夫しながら積極的に話しかける努力をしていました。そして、生徒のみなさんは、目を見て会話できる自信ができました。それを大事にして、いろいろな国の人たちと暖かく接して下さることを望みます。

家庭教育学級始まる

教育の原点は家庭に

五、六月にかけて、各小中学校ごとに家庭教育学級の開級式が次々と行われました。式では学級生である一年生の保護者の皆さんが集まり、家庭教育に関する講話を聞いたり、年間の学習計画を話し合ったりしました。

教育は大別して、学校教育と社会教育に別れます。社会教育のなかで最も大切なのが家庭教育だと

言われています。つまり家庭での教育、親が子どもにする教育です。子どもは親を手本に育ち、親との関わりで大きく影響を受けます。そのため親も子どもへの教育の仕方学ぶ必要があり、それが家庭教育学級のねらいでもあります。子どもたちが大人になり社会になると、人間関係が最も大事なものとなります。相手への思いやりや

粘り強さといった社会性や豊かな人間性が求められます。それを培うのが、家庭での教育なのです。

ほとんどの家庭が専業主婦だったころ、子どもたちは両親の働く姿を目のあたりにして育ち、家の手伝いで、汚れる仕事やつらい仕事も経験し、そこからさまざまなことを学びとりました。今はサラリーマンが増え、子どもは親の働いている姿を見る機会がなくなり、親と子どもの接する時

間が少なくなったと言われています。そのため、家庭での教育機能の低下が指摘されています。親と子の人間関係が希薄になり、しつけなどの基本的な生活習慣がしっかりと教育されていないとか、子どもの教育を学校に任せ切りにしているとか、いくつかの問題点が出ています。そして、ますます家庭での教育が重要視されています。

家庭教育学級の活動は、昨年の実績から見ると、実にさまざまなことが行われました。例えば、親子一緒に楽しむレクリエーションや講演、読み聞かせ会、風づくりや料理教室、餅つきなどです。

学級の目的は、このように親子で一緒にさまざまな行事を行い、家庭での連帯感を強めるとともに、先生や子ども、親同志の親睦が図られることにあります。

家庭教育で大事なことは、親子のコミュニケーションが図られることであり、親子のふれあいこそが教育の原点です。心豊かなたくましい人格の形成には、家族とのしっかりした信頼関係が築かれることが大切ではないでしょうか。



開級式で講話を聞く柿岡小学校の家庭教育学級の皆さん

花と緑の楽園
茨城県 フラワーパーク

園芸教室

アサガオと日本人

さわやかな朝の冷気が漂うころ、垣根やベランダに色とり鮮やかな朝顔を見る光景は夏の風物詩です。

アサガオはヒルガオ科の一年草でアジアの原産です。日本で園芸植物として発達し、江戸時代には多くの品種が作られました。茎は左巻きものつる性で長さ2m以上になります。このつるは一日中伸びていますが、特に夜の間によく伸びています。

「朝顔につるべとられてもらい水」は江戸時代中期の女流俳人、加賀千代女の作です。何と心やさしく、この句からも、つるの夜伸びる様子がうかがえます。芸は早朝開花し、午前中にしほみます。このように花の命がはかないところから「かげろう」の異名があります。

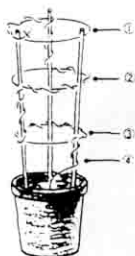


花の色は品種によって白、紅、青、紫などがあり、それらが交じりあって縞や絞りの模様を作るものもあります。

アサガオの行灯仕立てが多く行われています。花の姿が美しく見えるためのつるの巻き方です。

【行灯仕立て】

- ① 3本の支柱の足のどれかに、外側にいったん出して下段の輪に巻きつける。
- ② 下段の輪を巻き、支柱をひと巻きし上げる。
- ③ 中段の輪を巻き、支柱をひと巻きし上げる。
- ④ 上段の輪を巻き、つるを止める。



フラワーパーク園芸課 檜山

芦穂地区公民館

「公民館活動とは、町や地域の担当者がお願いしたり、説得したりして展開されるものではなく、個々のグループや同好会の話し合いと自覚によって進められるものであるという、基本には忠実であるべきだと思います」と藤代館長。芦穂地区では、このことを基本に、いくつかの同好会や学習が、自発的な取り組みによって進められています。例えば習字、囲碁、上曽婦人衆（二十五〜三十人）による学習会、北郷婦人衆（十五人

ふれあい 地区館活動

（ほど）のフラワーアレンジメントなどを軸とする学習会、掛軸作りの講座（十六人ほど）などがそれぞれです。

習字のグループは十四人ほどですが、スタートしてからすでに、七年の歳月を経過しています。当

地域の自発的な 取り組みを進める



町担当者から「健康管理」について講話を聴く上曽婦人衆の皆さん

初は、自分の名前くらいは人前でもスムーズに書きたいと言う細やかな思いでしたが、週一回の頻度で実施しているうちに、名前だけでなく、書道的な部分にまで手を伸ばしている昨今です。囲碁は、同好会的な月一回の集まりですが、現在五年目を迎えています。

上曽の婦人衆は、始まって三年目ですが、篠を使ったザル作りから、藁細工、紙細工、食品衛生など回を重ね、最近では町の担当者から「健康管理」についての講話を聴くなど、幅広い学習を続けています。北郷の婦人衆は、季節の花をアレンジして、生活をエンジ

ョイするために頑張っています。

掛軸作りの講座は終わったのですが、忘れないようにもう一度講座を開催するという意見も出ています。また、「お陰様で私は七幅もの軸を作りました」と言う方もありました。いずれにしても、自発的な組織の生い立ちには、長続きすること、実生活に比較的近いことやすることが大切なようです。

芦穂地区の公民館活動は、多目的センターを軸として展開されていますが、まだごく一部の方の利便にとどまっており、地域全般の方々が、より積極的に活動へ参加されることを願っています。

最近気になる病気

いわゆる自律神経

失調症について

豊後荘病院

精神科 河北英詮医師



めまい、動悸、息切れ、肩こり、食欲不振など、いわゆる不定愁訴があり、いろいろ検査してもこの症状に見合った検査所見がない場合、取り敢えず、多くの医師はこれを自律神経失調症と診断することが多いようです。自律神経には自動車と言うならばアクセルにあたる交感神経とブレーキにあたる副交感神経があり、この両者が働くコントロールすることにより、消化、呼吸、循環、排泄および生殖など体の働きを調節しています。この両者が乱れると、いろいろな身体症状が不定愁訴となって現れるのです。自律神経系は脳の視床下部とも直結し、ストレスやホルモンと密接に関係します。なかには自律神経系そのものが素質的に劣る方もいます。

自律神経失調症はその症状により、四つのタイプに分類されます。(一)身体病タイプ、狭い意味の自律神経失調症、(二)身体的

予防法としては、身体面からは休養に心がけ、自分に合った生活リズムをできるだけ保ち、ストレスへの抵抗をつけます。生理面からはストレスの存在に気づき、その性質を知り、自分の耐力を知り、回避ときには挑戦し、ストレスをため込まないよう、功く対処するよう日頃から心がけます。自立訓練法、マッサージ、入浴、サウナ、ヨガ、趣味そしてスポーツはリラックスをはかるのに良いことです。また家庭、職場あるいは隣人との良好な人間関係もまた、ストレスをやわらげるのに役立つものです。

わたしの手料理

赤とうがらしと

ニンニク入りスパゲティ



食生活改善推進員 助川公子（月岡）

材料（2人分）

スパゲティ 160g 赤とうがらし 2本 ニンニク 2かけ オリーブ油又はサラダ油 大さじ 2 塩 大さじ 1/2 パセリ 少々

作り方

- ①スパゲティは水カップ8～10を煮立て、塩大さじ1/2を入れゆでる。
- ②赤とうがらしは種を除きぬるま湯に20～30分ほどつけ、やわらかくしてから輪切りにする。
- ③ニンニクは中の芯を除いて薄切りにする。
- ④フライパンにオリーブ油とニンニクの薄切りを入れ、中火にかけ鍋肌に小さな泡が立ち始めたら赤とうがらしを加えて弱火にする。ニンニクが薄いキツネ色になったら火からおろし、ゆでたてのスパゲティをからめ、塩・こしょうで調味する。上にパセリのみじん切りをちらし、赤とうがらしを少々かざる。

お家のひまわり



川又

木村圭佑ちゃん

父 久さん 母 鈴子さん

平成5年12月20日生まれ

家族からの一言

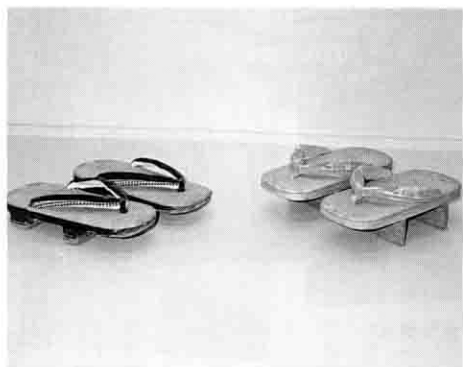
元気で活発なのはいいのですが、いたずら盛りなので目が離せません。また、水遊びや泥遊びが大好きな子です。

三人兄弟の末っ子なので、ちょっと甘えっ子かな。このまま元気で明るい子に育ってほしいです。

農村資料館

八郷の民俗資料

履物（下駄）



④

世界で最も古い履物は、エジプトのサンダルといわれ、それをはけるのは貴族・僧侶・兵士たちで、庶民ははだだったという。

わが国では、弥生時代の後半の頃に、水稲耕作の技術とともに中国大陸の南部から伝えられた田下駄があげられる。これは低湿地で農作業をする際、体が沈むのを防ぐために用いられた耕用の履物である。田下駄は、静岡市登呂遺跡をはじめこの時期の水田跡からしばしば出土している。その形状は、長さ40cm、幅20cmほどの木の板に鼻緒を通す孔を三個あけた下駄状のものである。田下駄は農具として機能したものであるが、下駄の発生を考えるうえで重要な手がかりを与えるものである。ついで古墳時代になると、古墳の封土に立て並べた人物埴輪の足元に示される履物の造形や、埋葬遺体に金銅製の沓が副葬される例などから、甲をおおう履物がすでに有力階層社会に普及していたことが知られる。

木製の台部に鼻緒をすげた履物を、古くは「あしだ、ついで「はくり」と呼ばれ、「あしだ」は足板の音便ともいわれる。また、これらに履という文字を充てていたのも、板の下に枝のように歯のある履物、つまり下駄（木沓・木履）を意味していたからでもあろう。

履物のなかで、沓と下駄と草履のどれが最初に用いられたかとすると問題はあがるが、需要が高かった履物としては、身近な稲の茎を原材料とする藁草履が一般に重用されていた。これは戦後もしばらくの間、農山村において広く利用されていたことは記憶に新しい。文献上に足履が登場するようになるのは平安鎌倉時代にかけてであり、これは優に二十cmを越す差し歯であったらしく、材質は杉で、とくに僧侶や婦女子が多用していた。室町時代の頃までは草履の系統の履物が好まれていたようであったが、江戸時代に移行してからは、高歯では早く歩くことに支障が多く、

なにかと不便であるため、歯の低い、いわゆる下駄が男女ともにおしなべて用いられた。それでも足駄は僧侶に限定され、一般では雨天用に転じた。

鼻緒も一時は手作りの木綿ものや竹皮の鼻緒が使われていたが、元禄期の頃からしだいに華美となり、塗下駄・麦打ちの下駄などが流行し、さらに享保期の頃になると僧侶、医師、武士などが下駄でも朱塗りの下駄などをはくようになるにいたり、幕府では贅沢を禁止する布告を出したもののあまり効果はなかった。かえって桐材柾目の下駄や朱塗りの下駄、畳付きの下駄など、ますます贅沢な下駄が作られるようになり、それも男物・女物と種類が多くなっていた。

履物としての靴は、当初は西洋草履とよばれ、明治初期の役人や兵士が主に用い、明治十年頃から普及した洋服とともに一般化した。

町文化財保護審議会委員 西宮一男



下青柳 広瀬友美



水菜月 希新



佐伯比呂



きくちゃん



風 竜 樹



私も

ひとこと

フ
ラワーパーク前が混雑していて、なかなか通れません。通学にも迷惑しています。 小幡 成田育江(40)

♣ 通行される皆さんには、特にゴールデンウィークやバラまつり期間中の休日など、道路が混雑し、大変ご迷惑をおかけしています。フラワーパークでは、ガードマンに交通整理を委託するなど、安全対策を考えています。また、今後ともなるべく込み合わないよう、検討を重ねていくつもりですので、どうかご容赦願います。

現

在、職業主婦として頑張っています。来年子どもが小学校です。

フラワーパーク

木立の
小松崎理奈

太くどっしりとした線が良い作品です。

柿岡小三年 小松崎理奈

一花の
滝田剛志

無理のない自然な呼吸の作品です。

柿岡小三年 滝田剛志

習字コーナー

評 玄潮会 森 浩亭

児童館のようなものがあれば、低学年でも安心して働けるのですが…。

宮ヶ崎 中山和子(39)

♣ このようなおハガキを以前にもいただきました。これから核家族が進み、共働き世帯が増えると、当然小学生も安心して遊んでいられる施設が望まれます。ただ八郷町の場合、面積が広いことや、交通機関が不便なため、どこにそのような施設を設けるかが問題となります。せっかく施設を設けても、利用者が限られてしまつては残念です。町のこれからの課題として考えていかなければなりません。 広報係

広

報クイズは広報を読めばわかる問題ばかりですので、少し頭の運動になるような、例えばJ A やさと

だよりでやっている「お楽しみクイズ」形式にしたらいかがでしょうか。

匿名希望

♣ ご意見ありがとうございます。広報クイズは、だれでも広報を読めばわかるように作っております。できるだけ多くの方にクイズに参加してもらいたいと考えているからです。問題をもう少し難しくするとしても、このままの形式でいきたいと思っています。ご了承ください。 広報係



広報クイズ 100

いつもの当選者のほかに、
さらに10人にテレフォンカードが当たるよ

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①七夕の飾り付けは何の葉にする
でしょう？

(A)もみの木 (B)笹 (C)松

②今月の園芸教室の花は？

(A)アサガオ (B)ひまわり

(C)サルビア

③昨年度の町内での献血者数は？

(A)108人 (B)308人 (C)508人

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ100と書き、
答えの記号(例1-A)、住所、氏
名、年齢、世帯主と「私もひとこ
と」へのご意見や広報の感想など
を書いて送ってください。イラスト
やマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10名に、ペ
アでフラワーパークの入園券とふ
れあいの森の乗り物券をプラスし
てプレゼントします。

☆また、今回 100回記念として10
名の当選者のほか、さらに10名に
フラワーパーク特製のテレフォン
カードをプレゼントします。

☆締切日 平成8年8月15日

☆応募先 〒315-01 八郷町柿岡
5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙9月号

【広報クイズ98の当選者の発表】

正解は1-C、2-C、3-Bでした。
応募総数52通、正解50通の中から
次の10名が当選しました。

木村俊彦(大増) 上田美恵(小幡)
市村勝洋(大塚) 山中和(片野)
長谷川和夫(大増) 斎藤保子(吉
生) 伊東紀江(上林) 入江とし(大
増) 土佐一成(吉生) 小原とく(片
野) [敬称略]



SIGNAL



下林 中根正博(11)



チョッチョリーナ 山野幸

●やさと文芸

短歌

吉田次郎選

葦切りは葦の中よりキョッキョツと誰を呼ぶのか声高く鳴く

山崎小松みき

目を細め思い出話を語る母子供にかえる笑顔愛らし

山崎鈴木君江

緑濃くあじさいの花あふれつつわが庭先に雨を待ちいる

柿岡阿部秀雄

俳句

綿引鼓峰選

十二橋くぐりくぐりてアヤメ舟

東成井小池 亀太郎

紅バラを活けもし一人暮しかな

大塚友部 ゆき江

俚謡

鈴木弦月選

独活の香りを地酒に添えて田舎冥利に酔う臍

下林 大山 恒 泉

四角ばつてる座布団でさえ折れて昼寝の夢枕

下林 谷 島 清 風

古郷に笑顔で待つてる母があつて嬉しい里帰り

大塚 友 部 ゆき江



柿岡商店街の七夕まつりです。
当時はこのような飾り付けをして
賑やかに行われました。

(昭和三十四年)

やさとメモリー

「まち」の「話題」で「き」こ」と

身近な出来事や地元の
話題をおよせください
(連絡先・秘書広聴課 内線 一三四三)

読書を通して親子のふれあい

葦穂小学校のPTA母親文庫の皆さんが六月十二日、県民文化センターで開催された県の運営研究会で事例発表を行いました。テーマは「親と子のほっとな時間を求めて」。これは、両親が仕事を持っている家庭がほとんどで、なかなか親子のふれあいの時間が持てない現状から、

読書を通して少しでもふれあいの時間、ほっとできる時間を作ろうと母親文庫の皆さんが話し合って設定しました。母親文庫の活動は、読み聞かせ会、本のグループ巡回や自由貸出し、広報紙や文集の発行などです。母親文庫の皆さんのこれからの活躍が期待されます。

駐車場花壇に花の植え付け

県立八郷高等学校のボランティアサークルの皆さんが六月二十一日、役場及び中央公民館の駐車場花壇に花の苗を植え付けてくれました。この花の苗は、ひまわりやマリーゴールドなど数種類で、ボ

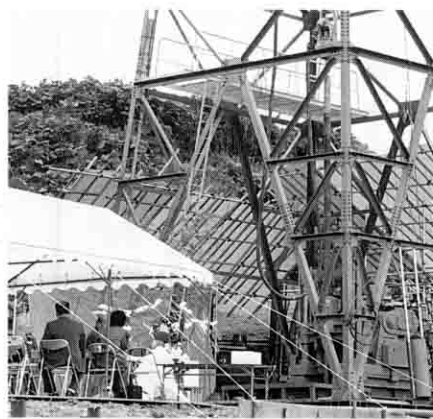
ランティアサークルの皆さんが種をまいて育てたものです。同サークルの皆さんは、この他にも学校や地域の清掃、老人ホームへの訪問などのボランティア活動を行っています。

八郷に温泉が出るかも

このたび、小幡地内において温泉掘削工事が始まることになり、それに伴って工事安全祈願祭が六月十九日、工事現場で行われました。

この温泉掘削は、茨城温泉開発株式会社がやっているもので、町内で温泉が出

そうな所を水質検査などをして決定し、試験的な掘削をしていました。そして今度、本格的に掘削が行われる運びになったものです。もし温泉が出たなら、町の観光資源となることが大いに期待されます。



ときめき
ティータイム

富田順子(大塚・22歳)さん

趣味はカラオケ・休日はショッピングに行ったり、友だちと出かけたりにしています。



■訂正 六月号「わが家のアイドル」山中真美ちゃんのお父さんが隆行さんとなっていました。誤りで、正しくは隆之さんでした。また、フラワーパークのカブト虫狩りのところで、『カブト虫を中心にクワガタ虫、カミキリ虫などをふれあいの森に放ち』とありましたが、クワガタ虫とカミキリ虫は誤りで、放しません。放すのはカブト虫だけです。どちらも訂正しておわびいたします。

色とりどりのやつき57点を展示

八郷盆裁会主催によるさつきの展示会が六月十三日から十七日まで、中央公民館ロビーで開催され、みごとなさつき五十七点が展示されました。

【入賞者】▽農林水産大臣賞 鶴井昭
▽県農林水産部長賞 大関久▽県南総合事務所長賞 高橋正躬▽県議会議員賞 飯塚実▽八郷町長賞 河合定男▽町議会

議長賞 鈴木光一▽町観光協会長賞 小松崎正一▽町農業委員会長賞 生田目男▽町中央公民館長賞 武熊正己▽町商工会長賞 藤岡勲▽県フラワーパーク園長賞 雨貝恒治▽常陽銀行柿岡支店長賞 飯田一夫▽石岡信用金庫柿岡支店長賞 大塚章▽八郷盆裁会長賞 熊岡三夫▽上田園芸賞 小橋君一 (敬称略)



町民クロツケーに41チームが参加

春季町民クロツケー大会が六月十一日、総合運動公園で開かれました。当日は霧雨の降るなかにもかかわらず、四十一チームが参加し四ブロックに別れて、勝敗を決しました。結果は次のとおりです。

【Aブロック】▽優勝園部第四A▽進優

勝鶴沼A▽三位小橋比企(Bブロック)
▽優勝山崎B▽準優勝日向一▽三位サクラA(Cブロック)▽優勝瓦合弓張▽準優勝電の口▽三位小幡細内二(Dブロック)▽優勝瓦合第一B▽準優勝小幡細内一▽三位鶴沼B

八郷町をよく知るために

生涯学習課では、六月から二つの講座を開始しました。まず一つめは「八郷町を知っていただく講座」で、新しく八郷町民となられた皆さんに、八郷の生活・文化・風土などを知ってもらい、地域との連帯感や親睦を深めてもらうのが目的です。開講式は六月十九日に行われ、来年の一月二十四日まで、月に一度の割合で、町内の施設・文化財めぐりや町の農

業・自然・郷土料理などを学習します。

次に、二つめの「方言・民話・伝説の収集、年中行事の調査」は、遠い昔から語り継がれてきたものを自分で足を運び、目と耳で確かめ、調査収集するという学習で、開講式が六月二十六日に行われました。これから十二月まで調査収集を実際に行います。どちらの講座も八郷町の新たな魅力発見となることでしょう。



「八郷町を知っていただく講座」開講式



ある日新聞を読んでいると、こんな記事が目にとまりました。千葉県のある中学校で朝の読書時間を設けたところ、本好きの生徒が増え、授業が静かに始められるなど、プラス効果ばかりだということです。この朝の読書は、マンガや雑誌以外の本を始業前に毎朝十分間読むというもの。これを始めてから一年が経過するようですが、授業前に騒ぐ生徒もいなくなり、校内暴力やいじめの報告もなくなったということでした。

今の子どもたちは塾、おけいこ、ファミコン、テレビ、宿題などで忙しく、本を読む時間がとりにくいといわれます。実際、本を読むのが面倒、苦手という子どもたちも多いはず。しかし本の世界とは不思議なもので、一歩足を踏み入れると、何ともいえない魅力があるのも確かです。本の世界ではみんな主人公になって、生きる勇気を与えられるからかもしれません。夏休みには本に親しむ絶好の機会。子どもばかりでなく、大人も一緒に読書をしましょう。かくいう私も最近めっきり読書とは遠ざかり、一日五分でも読書することを目標にして続けたいところです。(武)

献血にご協力を

献血は身近な助け合い

平成七年度の八郷町内での献血者数は三〇八人。献血された血液は輸血などさまざまな治療に利用されています。しかし、献血者は年々少なくなっており、必要な血液を確保することが難しくなっています。献血はだれにでもできる善意といわれています。助け合いの気持ちで、あなたもぜひ献血にご協力ください。



中央公民館で行われた献血

病気やけがの治療で輸血に使われる血液は、多くの人の献血によって支えられています。

献血は季節を問わず、年間を通して求められています。それは、輸血の九割以上が、がんなどの病気の治療に必要とされているからです。

輸血用の血液は、人工的に作り出すことはできません。わたしたち一人一人の献血への協力がすべてなのです。

では、私たちはどのように協力したらよいのでしょうか。

最近、必要性が高いのは「成分献血」と「四〇〇ml献血」です。

◎成分献血

血液中の血漿や血小板など必要な血液成分だけを採取する献血方法です。再生に時間のかかる赤血球は体内に戻します。全血献血（すべての血液成分の献血）に比べ、一人の人からより多くの血漿や血小板を提供してもらえます。

いま、医療の現場では、より効

果的で合理的な輸血を行うため、患者が必要とする血液成分のみを輸血する「成分輸血」が主流です。

成分献血の需要が高いのも、そのためなのです。

◎四〇〇ml献血

例えば、八〇〇mlの輸血が必要となるときに二人分の献血で補えます。そのため、輸血による感染症や副作用の恐れが、四人分の二〇〇ml献血で補うより少なくなります。

*

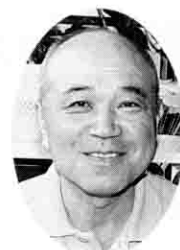
献血は、健康な人ならだれでもできるボランティアの一つです。

私たちの健康な血液の一部を提供するだけで、人の命が救われるのです。また、献血すると血液について各種の検査サービスを行ってくれるので、自分の健康管理にも良いのではないのでしょうか。

八郷町では平成五年度に五六三人、六年度に二一五人、七年度に三〇八人の方が献血されています。これからも皆さんの献血への協力をお願いします。

これからの献血日程予定表

期 日	献 血 場 所	受付時間
9月19日 (木)	八郷町立 中央公民館	1:10~ 15:30
11月19日 (火)	(株)泰栄商工 石岡電子工場	9:30~ 11:30
1月9日 (水)	八郷町立 中央公民館	10:00~ 15:30



手賀春三さん
(柿岡・63歳)

ひ・と・こ・と